



長岡市

地域企業の課題解決に取り組む 長岡市 DX 推進ラボ 成果報告会を開催

長岡市は、市内企業の生産性向上、生産管理、人手不足などの課題解決のためのデジタル技術導入を支援する「長岡市DX推進ラボ※」の活動に取り組んでいます。

このたび、令和6年度の活動を企業と共有し活用してもらうため、成果報告会を開催します。つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、周知にご協力いただくとともに、取材くださるようお願いいたします。

長岡市DX推進ラボ 成果報告会

- 1 日 時 7月1日（火）午後2時30分～3時40分
- 2 場 所 長岡商工会議所6階 601会議室
（長岡市表町3丁目1-18 リナシエビル3）
- 3 内 容
 - （1）開会あいさつ、DX推進ラボ活動全体像の説明
 - （2）成果報告
 - ①長岡デジタルものづくりイノベーションハブ活動報告
 - ・生成AI（ChatGPT）を利用した社内データの活用による業務効率化システム開発（データベース構築利活用WG）
報告者 株式会社ブリッジ 矢澤 祐二 様
長岡アイティ事業協同組合 代表理事 片山 真一 様
 - ・AIとドローンを活用し高所点検・評価の自動化を実現するシステム開発（自動高所点検・検査システムの開発WG）
報告者 有限会社ワタナベプラン 代表取締役 渡辺 仁 様
株式会社トラスト 代表取締役 品田 誠一郎 様
 - ・機械学習・ChatGPTを活用した見積もりシステムの開発（見積システムWG）
報告者 長岡技術科学大学 教授 湯川 高志 様
 - ②長岡市デジタルビジネスイノベーションハブ状況報告
 - ・アナログ業務の効率化と多様な業態対応を可能にする販売管理システム開発（受注管理—販売管理のデジタル化WG）
報告者 株式会社KCS 代表取締役 神田 英一郎 様

※ 長岡市DX推進ラボ

市内企業の生産性向上、人手不足などの課題解決のため、デジタル技術の導入を促進する団体（事務局：長岡市）。産業界、大学など高等教育機関、金融機関が参画（別紙参照）。経済産業省から平成29年8月に「地方版IoT推進ラボ」として選定され、その後、令和5年4月に同省から「地域DX推進ラボ」として選定された。

問い合わせ：産業支援課 早川
TEL 0258-39-2222

長岡市 DX 推進ラボ体制

今後さらなるデジタル技術の活用を推進し、市内企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を加速させるため、令和6年度より組織名称を「長岡市デジタル推進ラボ」から「長岡市DX推進ラボ」へ変更し、取組を強化する。技術の枠にとらわれずに、各業種の現場課題の解決を目的とする。

1 役員

役 職	所 属 団 体	氏名（所属団体役職）
会 長	長岡産業活性化協会 NAZE	会長 大井 尚敏
副会長	長岡商工会議所	専務理事 田中 克美
副会長	長岡市	商工部長 西山 裕介
幹 事	長岡技術科学大学	教授 湯川 高志
幹 事	長岡工業高等専門学校	教授 矢野 昌平
幹 事	長岡造形大学	教授 水川 毅
幹 事	長岡大学	教授 坂井 一貴
幹 事	長岡地区ソフトウェア産業協議会	会長 山田 久志
監 事	(株)第四北越銀行	コンサルティング事業部 コンサルティング営業グループ 副部長 桃生 恒雄
監 事	(株)大光銀行	地域産業支援部 部長 長谷川 幸夫
コーディネーター	長岡市	産業イノベーションアドバイザー 武藤 睦治

2 協力団体

長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学、長岡工業高等専門学校、
長岡工業高等学校、長岡 IoT 推進協議会、長岡商工会議所、
にいがた産業創造機構、長岡産業活性化協会 NAZE、新潟県電子機械工業会、
長岡地区ソフトウェア産業協議会、長岡アイティ事業協同組合、
(株)第四北越銀行、(株)大光銀行、長岡信用金庫、長岡電気工事協同組合、
中越鋳物工業協同組合、長岡鉄工業協同組合 （18 団体）